

I.H.K 基金

第6期 (2023年度)

募集要項

募集期間：2023年7月18日(火)～9月29日(金)



公益財団法人 パブリックリソース財団
Public Resources Foundation

1. 助成目的

I.H.K 基金は、児童養護施設または里親宅等で暮らしている児童（女子）が将来の医療福祉分野での活躍を願う、個人の意志に基づき設立されたもので、高校卒業後に同児童が医療福祉分野に進学する費用を助成し、社会的自立を支援することを目的としている。

就学期間中、対象者には若い社会人ボランティアを派遣し、社会的自立に向けて、相談しやすい環境を提供する。

（公財）パブリックリソース財団は、この事業を児童福祉施設に入所している児童・里子の夢の実現への一助とし、児童福祉の一層の向上に貢献する。

2. 対象者

- ◇ 入学試験日に東京都にある児童養護施設または里親宅等で暮らしている児童で、経済的支援を必要とする者（女子に限る）。
- ◇ 卒業後医療福祉分野での活動を行うため、次の資格を取得できる学部等を有する大学、短期大学、専門学校において、その資格を取得することを目的に入学する者。
 - ・ 厚生労働大臣の認可を受けた看護師資格を取得できる学部・養成校
- ◇ 他の奨学金との併用：併用可。また、他の奨学金等の獲得の努力を奨励、評価します。
- ◇ 現在対象者を養育している施設または里親が、進学後も奨学生とコミュニケーションを図り、アフターケアを行う事が出来ること。

3. 募集人数

- ◇ 1名

4. 奨学金支給額

- ◇ 進学後3年～4年間の授業料の一部として総額120万円の奨学金を支給します。奨学金は給付型とし返済は不要です。

（例）3年の場合 初年度40万円、2年度40万円、3年度40万円

4年の場合 毎年30万円

※支払いのタイミングは採択決定後に、相談の上決定します。

- ◇ なお支給条件として下記書類の提出が必要となります
 - 入学時：大学等合格通知書、学費等の支払証拠書類等
 - 在学中：近況報告レター（A4一枚程度の手紙）（年4回）
- （※パブリックリソース財団を通じて、本基金を設立された個人に届けられます。）

公益財団法人パブリックリソース財団

- 進級時：学費等の支払証拠書類、成績証明書等

本奨学金では、奨学金の支給とは別に、NPO 法人ブリッジフォースマイルと協働し、同法人とのマッチングによるメンター制度を実施します。入学時から卒業まで、奨学生と専任メンターの方が月1回程度面談の機会をもち、近況報告や生活、仕事の中で抱える不安や悩みの聞き役になるほか、メールや電話でも定期的なコミュニケーションを取ります。

奨学生の皆さんのサポーター役として、小さな疑問やつまづきを早めに解消し、愚痴や悩みを聞くことで、奨学生の皆さんの気持ちが整理でき、前向きな気持ちになれるような支援に繋がっていきます。

5. 奨学期間

- ◇ 在学する学校の正規の最短修学期間内とします。（3年制専門学校なら3年、4年制大学なら4年間）

6. 審査項目

- ◇ 看護学校を目指すのに十分な学力と高校卒業が見込まれること
- ◇ 看護師を目指す強い意志と学業に取り組み続ける意志の強さ、粘り強さを持っていること
- ◇ 将来について意欲的かつ実現可能な目標を持っていること
- ◇ 経済面、家族状況等の面でより脆弱な状況に置かれている者

7. 応募方法

- ◇ 次の応募書類は、当財団所定の様式を使用し施設を通して提出下さい。

- ① 申請書【様式1】
- ② 進学志望校調査書【様式2】
- ③ 資金計画書【様式3】
- ④ 応募者についての所見書【様式4】
- ⑤ 応募者の作文【様式5】 ※自筆、指定用紙2枚以内

テーマ：「私が目指す看護師と将来について」
なぜ看護師を目指すのか、将来取り組みたいことや夢について、
ご自身のことを自由に書いてください。

- ⑥ 在籍（卒業）高校長の推薦書 ※開封無効、様式自由
- ⑦ 在籍（卒業）高校の成績証明書 ※開封無効
高校在籍者（卒業見込み）は第1学年から提出日において取得可能な直近のもの。高校卒業者は

第1学年から卒業学年までのもの。なお、提出日において高校（定時制、通信制などを含む）に在籍しておらず、高等学校卒業程度認定資格（旧大検）の資格を有する方については、応募書類⑥に変えて文部科学省交付の合格成績証明書を提出して下さい。

- ◇ 応募書類一式を取りまとめて、簡易書留・レターパックプラスなどの送達記録が確認できる方法で郵送して下さい。（応募書類一式はホチキス止めをしないで下さい。また、簡易書留は受領証、レターパックプラスは追跡番号が記載されたシールをはがして保管して下さい。）

8.

応募期間

- ① 応募開始：2023年7月18日（火）
- ② 応募締切：2023年9月29日（金） ※必着、締切厳守のこと
- ③ 送付先・お問い合わせ先

〒104-0043 東京都中央区湊 2-16-25-202

公益財団法人パブリックリソース財団「I.H.K基金」担当：岸本・黒木

電話：03-5540-6256 Fax：03-5540-1030

E-mail：center@public.or.jp

9. 選考及び奨学金の支給について

- ① 当財団の選考委員会による第1次書類審査及び書類審査後の第2次面接審査を経て最終決定致します。
※第1次書類審査結果は施設長または里親宛に郵送でご通知し、ご本人に伝達いたします。
※面接審査日は別途案内しますが、10月下旬～11月上旬を想定しています。なお、面接に関わる費用（交通費等）は当財団が負担します。
- ② 進学先への合格が決定した場合は速やかに本財団へ連絡して下さい。
- ③ 入学を証する書類（合格通知書等）及び、当財団が指定する必要書類（誓約書等）を提出した時点で本採用とします。
- ④ 奨学金は奨学生本人名義の口座に送金します。
- ⑤ 浪人は内定の取り消しとなりますので速やかに連絡して下さい。

10. 奨学金受給資格の喪失及び停止要件

- ① 当財団への提出書類に虚偽が発見されたとき。
- ② 転学、退学、または停学処分を受けたとき。
- ③ 留年、休学及び長期欠席をするとき（但し、病気や事故などのやむを得ぬ事情は考慮します）

公益財団法人パブリックリソース財団

- ④ 当財団の定める義務（学習報告書、進学先の成績証明書、入学金及び授業料の納付を証する書類の提出等）を怠ったとき。
- ⑤ 成業の見込みがないと判断されたとき。
- ⑥ 奨学金の受給事由がなくなったとき。
- ⑦ その他、当財団が奨学金受給者として不適当な事実を認めたとき。

11. 奨学生の義務

- ① 留年、退学、休学、停学したとき、氏名、住所、連絡先、その他重要事項に変更があったとき、身分及び奨学金受給を辞退する事由が発生したときには速やかに通知すること。
- ② 連絡がとれる電話番号、メールアドレスを届け出ること。
- ③ 初年度から奨学金支給終了時まで、年4回の近況報告を提出すること。
※各回、A4一枚程度の手紙。パブリックリソース財団を通じて、本基金を設立された個人に届けられます。
- ④ 毎年4月末日までに成績証明書及び資金計画書を提出すること。
原則、年次ごとに1回。但し、当財団が必要と判断した場合は在籍証明書などの提出を求めることがあります。資金計画書は定形書式を用意します。
- ⑤ 入学金及び授業料の納付後は速やかに納付を証する書類の写しをメール添付にて提出すること。
- ⑥ 他機関からの奨学金などの併給がある場合には、基金名や金額を通知すること。また、学費免除などの特待生制度や新たな奨学金などの給付を受けた場合も速やかに通知すること。
- ⑦ 当財団が主・共催、及び助成している行事等への参加依頼、あるいは当財団よりホームページ等への寄稿依頼があったときは協力すること。
※個人情報の取扱には細心の注意を払い、諸事情は十分に勘案します。奨学生本人の不利益になると、意に反することを強制するものではありません。

12. その他

- ① 提出された応募書類は返却しません。
- ② 選考基準、経過については非公表とします。
- ③ 当財団は個人情報の保護に関する法律及び関連する法令等を遵守することを誓約します。取得した個人情報は適正に運用・管理し、選考及び当財団からの連絡においてのみ利用します。

【コラム】 看護師を目指すみなさんへ

I.H.K 基金 元奨学生・現役奨学生から聞いた看護学校での生活・卒業後の進路

病気や障害で苦しむ人をケアし、患者さんだけでなく家族の心の支えとなる看護師さん。病気にならないように健康に生きるためのサポートをする看護師さん。これからの社会で益々必要とされる職業です。看護師資格を活かすと、一生を通じ、日本全国で、就職・起業することができます。

このコラムでは、これまでに I.H.K 基金で奨学金の支給を受けて学んだ奨学生たちからの声を元に、看護学校の様子や卒業後の生活について紹介しています。

充実した学校生活を送り、看護師資格を取得するためのコツをまとめています。ぜひお読みいただき、看護学校入学後の生活を具体的にイメージしながら、I.H.K 基金に応募くださることをお待ちしております。

①看護師資格が取得できる学校の種類

看護師になるためには、看護専門学校か看護科大学を卒業し、看護師国家試験に合格して、看護師資格を取得します。

看護師になるための専門学校としては、最も一般的なのは3年制の専門学校です。専門学校の特徴は、実践的な技術を学び、より臨床に近い環境で専門的な勉強ができることです。実習も多く、学習のなかで就職後の働き方をイメージしやすい面もあります。

一方、4年制の専門学校や看護大学では看護師になるための知識を中心に、より広範囲的な福祉や医療分野コミュニケーション学といった教養も学ぶことができます。また、保健師、助産師など、3年制の専門学校では取得が難しい資格を獲得することもできます。

②授業に出ることを大切に

いずれの学校も、必須取得単位数が多いため、朝早い1限目から授業が始まる日が多いです。実習課程に進むためには単位の取りこぼしのないようにするため、1学期の最初から授業への出席はとても大切です。

③実習を乗り切る実習生同志の助け合い

看護実習は講義や学内演習で得た知識・技術を臨床現場で活かし、実践方法を体得することを目的に行われます。1・2年生では1回の実習が2～3週間、3年生になると数か月単位の長期間に渡って行われます。実習先の病院や担当する科は多様です。

実習期間中は、患者さんを実際に担当することになります。担当する個々の患者さんに対する行動計画を立て、実践し、記録を作成して振り返りとフィードバックをもらい、また次の日の計画に反映させるといった実践的な学びが続きます。早朝から夜まで取り組む日も多くあります。実習生同志の情報共有や相談、指導担当の先輩看護師からのフィードバックを通じて、学びを深めていきます。

これまでの奨学生たちは、同じグループになった実習生同士で助け合って、この厳しい時期を乗り切ることが多かったそうです。実習は厳しいけれど大変充実した学びにつながると語ってくれました。

④心身のバランスを保つことが大変な時には早めに頼る・相談する

特に実習が始まると、自活やアルバイトとの両立が難しくなるほど、多忙を極めることで、遅刻・欠席できない授業や実習をやり遂げなければならないというプレッシャーを感じ、体調を崩してしまったり、心身のバランスを保つことが難しい時期もあったという声もありました。そのような時は、早めに学校の先生、施設の担当の職員、身近に相談できる大人や友人を頼ることが肝要であるとお話もありました。

目標に向かって前向きに、粘り強く取り組むことは大事な姿勢ですが、無理をしすぎないこと、頑張りすぎないことも大切です。

⑤生活費の確保

最終学年では、実習、国家試験、就職活動が重なるため、多忙で、一番の山場になります。この時期にアルバイトの時間を割くことは難しいと先輩奨学生は言っています。できれば、複数の奨学金を受給しておく、最初のうちにアルバイトをして貯金しておくなど、最終学年ではできるだけアルバイトをしなくても大丈夫なように、生活設計をすることをお勧めします。

⑥様々な就労の途

I.H.K 基金でも、既に学校を卒業し、看護師として活躍されている方や、現在、専門学校や大学で看護師を目指して勉学に励んでいる奨学生もいます。無事、看護師資格を取得すれば、様々な就労の途が開けます。病院勤務や訪問看護だけでなく、保育園、学校といった教育機関、美容業界、福祉分野など、幅広い職種で、看護師資格を活かして働く道があります。資格を活かして起業することも可能です。ぜひ、みなさんが描く夢の実現のために、I.H.K 奨学金を活用していただければと思います。

【お問い合わせ先】

公益財団法人パブリックリソース財団「I.H.K 基金」担当：岸本・黒木

〒104-0043 東京都中央区湊 2-16-25-202

電話：03-5540-6256 Fax：03-5540-1030 E-mail：center@public.or.jp